

令和4年度 市川市市民活動団体事業補助金申請（二次募集） 審査事業一覧表

[illegible]



令和４年度 市川市市民活動団体事業補助金申請（二次募集） 質疑への回答一覧

| 団体名        | 質疑一覧                                                                                                                                               | 団体からの回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平田聖徳太子堂友の会 | 「継続の必要性」の審査に関し、以下の項目について情報不足なので団体より分かりやすくご回答いただきたい。<br>①事業の目的や目標をどの程度達成したか。                                                                        | 地域文化の理解の増進、地域愛着心の高揚、人格の形成を図ることを目的とする事業として平成29年(2017年)第一回からスタートし、令和元年(2019年)から市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けさせていただき本年申請に至るまで合計11回の「市川・ひらたの郷土物語とお茶の会」を実施することができました。<br>コロナ騒動の期間(約2年間)を除いて、地元平田地域以外の参加者も増加傾向をたどってきています。最近までのコロナ禍の期間中市川市諸行事が中断するなかで、平田聖徳太子堂友の会としてはまん延防止にからみ、会場の関係等で友の会を開くことはできませんでしたが、地域文化の理解の増進に関連する行事の一環として市川市の援助により完成した「市川・ひらたの歴史板」の紹介、周知を地元自治会と協力して実施し、地域住民、一般市民の地域文化に対する関心の高まりを感じております。また、ひらた聖徳太子堂友の会役員を中心に地元平田小学校の社会科授業の一環としての2、3年生、6年生による「ひらたの歴史散歩」の引率など補助活動(毎年実施、聖徳太子堂の太子石像見学や関連歴史説明)などを含めて地域文化の理解の増進を図っており、今後コロナ禍が収まり次第事業の継続及び関係活動を実施することにより、事業の目的を徐々に達成できるようにしていきたいと思っています。 |
|            | ②まだ達成されていない事業目的、目標は何か。                                                                                                                             | 地域文化の理解の増進には、まず地域の住民から地域文化の理解や必要性が理解されることが重要であるが、このための対策として周知や参加方法について工夫する必要を感じています。①で記載させていただいたように、地元小学校の「ひらたの歴史散歩」参加の児童の報告に影響されて、親御さんや兄弟、友人が地域文化を理解する機運が生じてきており、コロナ禍が下火になる機会をとらえて周知方法、参加方法、運営方法などを検討したいと思います。また、市川市の生涯教育の一環としても重要な位置づけが出来ると感じています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|            | ③資金面での自立をどのように工夫、努力しているか。                                                                                                                          | 平田聖徳太子堂友の会規約に基づいて、会の目的に賛同する会員の獲得を進めており、規約に基づく会費の徴収が始まりつつあるので、今後も会員獲得を目指して努力していきたいが、現状では自立できるほどの余裕はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|            | 通信運搬費について<br>・往復返信ハガキは、メール等の通信手段がある中でコスト面で最善の方法ではないのでしょうか。<br>・一部にメール等が使えない方がいるのであればその方だけは往復返信ハガキを使用してメール等が使える方はメール等に切り替えてコスト削減が出来ないのでしょうか。        | 確かに、参加希望者により通信連絡方法に差が生じているが、コストダウンの観点から検討したい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|            | 昨年度と同一内容の申請ですが、今後の事業における資金面の自立についてその可能性をお聞かせください。                                                                                                  | ③の回答と同様です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|            | 令和3年度申請内容の実施はなかったですか。                                                                                                                              | 令和3年度として、1回(第11回聖徳太子堂友の会)を実施及び役員会(1回)を実施しました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|            | まだコロナ禍が続くなか、茶会などの時の、スペースも含めて感染対策は十分に考えていらっしゃるのでしょうか。                                                                                               | 市民活動団体補助金令和元年及び2年度に感染対策として、消毒液、フェイスマスクなどを付けていただき、これを利用して実施致しました。茶会は、実施上感染対策を取りにくい点があり、中止させていただきました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|            | 子どもなどを対象に考えている企画は、素晴らしいと思います。年齢制限などはあるのでしょうか。                                                                                                      | 全くありません。<br>ただし、一般的に子供が理解できる範囲として、平田小学校が社会科の授業の一貫として実施している「ひらたの歴史散歩」は、2年生以上ですので参考にしていただければ幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | お茶は3回分計上されていますが、会場使用料は計上されていないので必要ないですか。                                                                                                           | 聖徳太子堂内で実施予定のため、計上していません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|            | 往復返信はがき代63円ではなく、63×2=126円で計上すべきだと思います。                                                                                                             | 承知しました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|            | 年４回の事業実施予定のうち、１回は見学会を計画されていますが、施設入場料や交通費など予算計上されていません。具体的な会場の候補は想定されていますか。                                                                         | 市川市周辺の見学場所は、これまでの経験で入場料など費用は発生しないか、発生しても参加者負担で実施できると思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|            | 事業計画書では、年４回の事業実施予定のどの回のテーマにも「お茶の会」が入っていますが、見学会の実施回でもお茶の会は実施するのでしょうか。なお、収支予算書では予算は３回分計上されています。                                                      | 見学会では、文化財、特に歴史関連施設を巡る予定ですので、お茶の会は省略しますので3回となっています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|            | ご提出された「事業計画書」に、学生や若い人に自分たちの郷土の認識を高めたい、とあります。一方「広報の方法」欄の中の「インターネットを活用した情報発信」には、チェックがありません。若い人の情報収集ツールは、「ネット活用」がダントツと言われます。当会は、どうしてネットを活用されないのでしょうか？ | 周知活動の一環として、ネットの活用も今後検討したいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | 同じく「広報の活用」欄に、広報いちかわ（市民の広場）に掲載との項目に、チェックされていますが、直近で「掲載」されたのは、いつになりますか？                                                                              | 令和2年7月18日号(NO.1644)市民の広場欄に掲載させていただきました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|            | 意見一覧（回答は不要となります。今後の事業実施のご参考にしていただければと思います）                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | 本年度の申請書に関しては質問はありません。ただ、今後の希望として右記の様な意見から、会の折に出席者に参加回数の記入等をお願いし、新規の参加者の人数等を報告書や計画書に書いていただけると、本事業の成果がより分かりやすいと思います。                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | 地域の歴史の伝承は、根気よく未永く続けていくことが大切であり、本事業のような内容は、支給期間に関わらず継続して市が援助する事業と考えます。毎年、少人数でも構わないので、新規の参加者や、参加する子どもたちが増える事を願っています。                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



| 事業<br>番号 | 団体<br>NO. | 団体<br>分野 | 事業<br>分野 | 団体名                                     | 事業名                                     | 事業概要説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 実施時期、方法、場所                                                                                       | 前年度指摘事項 | 事務局所見及び団体確認事項                                                                                                           |
|----------|-----------|----------|----------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 29       | 17        | 1        | 1        | 特定非営利活動法人ニッポンアクティブ<br>ライフクラブ市川拠点「ナルク市川」 | 「市民公開講座」事業                              | 地域でいきいきと活動するシニアや女性を中心に多くの市民の自立を支援する講座。医療・介護・福祉の最新の情報やボランティア活動のための実践的なノウハウを定例的に年間を通じて提供する。また、こうした活動へ参加することで介護予防や人的ネットワークの構築にもつなげる。                                                                                                                                                                                                                                   | 令和4年7月～3月毎月1回以上。全日警ホール、男女共同参画センターで開催                                                             | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、感染が拡大した場合にはオンラインでの開催も視野にソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。 |
| 30       | 23        | 6        | 6        | 着物リメイク研究会                               | 着物リメイク講習会および市民ファッションショー開催事業             | 着物リメイク講習会：着なくなった和服を洋服、バッグ、帽子、小物などにリメイクする講習会を通して、今着る物に作り替える技術を習得できる。ファッションショー：リメイクした物を披露し、再活用を具体的に提案することで和布の良さの理解が深まる。いずれも、日本伝統文化としての和布の良さ、大切さを示し、今着られるものに再活用することで、その価値を次の世代へ伝授、継承することができる。                                                                                                                                                                          | ファッションショーは令和5年3月26日、全日警ホールで実施予定。<br>講習会は7月及び11月の2回を市民活動支援センターで開催予定。                              | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。                         |
| 31       | 29        | 6        | 6        | 東部マンドリーノ                                | マンドリン演奏による、地域の文化活動推進事業                  | 高品位な楽曲を披露することにより、地域文化向上に資する。高齢者介護施設等に赴き、外出のままならない方達に音楽を届ける事業を行う。ただ、聴いて貰うのではなくご老人に簡単な打楽器等を渡し一緒に演じる。鬱々とした目も虚ろな方が生き生きとした表情になるといった、音楽的療法的な効果が期待される。                                                                                                                                                                                                                     | 東部公民館文化祭 令和4年10月22日（土）東部公民館、ふれあいコンサート令和5年2月25日（土）東部公民館、高齢者福祉施設訪問演奏5回位予定                          | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。                         |
| 32       | 32        | 3        | 3        | まちづくり家づくりCafé Ichikawa                  | クロマツのある風景市川2022                         | 良い町に住みたいと思っている市民を対象に私たちがまちづくりのテーマとしている「まちのみどり環境、街並景観、生活文化の歴史継承」に沿って、まち歩き＋ガイドマップ作りワークショップ、展示会、講演会、シンポジウム等を開き、身近な題材を選んでまちづくりの意義、方法を共に考える機会を提供して、「まちづくりは市民それぞれが参加して初めて成り立つ」ことを市民各自が実感して、住みよいまちづくりに参加する意識の向上と実際に参加する市民を増やすことを目的とした事業です。                                                                                                                                 | ・まちCaféシリーズ：7月より隔月（4回）まち歩きと座学の組み合わせで行う。大門小祭りは新しい形態として行う予定。<br>・展示会：ECOギャラリー、駅南図書館展示等スケジュールに合わせて。 | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。                         |
| 33       | 59        | 3        | 3        | 赤レンガをいかす会                               | 赤レンガ保存活動2022                            | 市川市国府台2丁目の旧千葉県血清研究所跡地に残る赤レンガ建築物は、明治初期に建てられた極めて文化財的価値の高い建物です。その存在と価値を広く市民・県民に知ってもらい、赤レンガ建築物とその敷地の保存と有効活用対策を確立するために、行政・学識経験者・市民による協働の輪を広げていく。そのための活動として、 ①勉強会2022/07～2022/03（5回） ②赤レンガ研究成果中間発表展示（駅南図書館11月中） ③赤レンガ研究成果発表シンポジウム2022＋成果発表会④赤レンガ見学会（可能であれば）を実施する。                                                                                                         | ①市民勉強会2022<br>5回（8,9,10,11,12月）公民館またはZoomにて実施<br>②研究成果展示発表<br>11月<br>③研究成果発表会<br>2月              | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、感染が拡大した場合にはオンラインでの開催も視野にソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。 |
| 34       | 64        | 1        | 1        | 市川なのはな会                                 | 動作法による障害児者への療育事業                        | 障がい児者が、その家族や支援者とともに動作法を学び、日常的により良い身体の使い方を覚え、その後、行動の変容をもらたすことを継続して促す。また、援助者においては、動作法の知識・技能を高めることができる。                                                                                                                                                                                                                                                                | 2022年4月1日～2023年3月31日 8月を除き1ヶ月に1回<br>市川市文化会館和室                                                    | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、人数制限を行い、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。                 |
| 35       | 76        | 6        | 6        | リズムパーク                                  | 音楽療法とアフリカンリズム統合プログラムによるワークショップコンサートシリーズ | 障がい、不登校など様々な困難をかかえた子どもが増えており、家族や教育、福祉スタッフは適切な支援方法を求めている。音楽療法は日本では社会認知が遅れており専門スタッフも育っていない。限られた施設や病院で実施されているが、誰もが参加できるコミュニティの実施は少ない。本事業は独自開発の「音楽療法とアフリカンリズム統合プログラム」による地域支援を全国各地で実施し、実績経験を持つ2名の講師による、実践的、継続的な研修シリーズである。「自然な感情整理」「心身の活性化」を促し、人と人の心をつなぐ。他者尊重から自尊感情の獲得へとつなげ、地域や様々な現場での相互理解が進み、市民活動の振興に貢献することを目的とする。                                                       | 令和5年1月15日@全日警ホール                                                                                 | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、開催時間短縮等を行い、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。              |
| 36       | 77        | 13       | 13       | NPO法人子育て・教育支援センターピア                     | 子育ての負担感を軽減し及び子どもの発達を支援する活動              | 1 目的：子育てへの負担感を軽減し、子どもの発達を支援し親子の温かい関係性を構築することで、健全育成を図ることを目的とする。<br>2 内容：①親子遊び、親同士の交流、親への相談活動 ②子ども理解、支援への啓発活動 ③心理発達相談、学校巡回を行い、公的機関との連携を図る ④特別支援教育や発達障がいについての教職員研修や保護者対象の講演会の開催<br>3 効果及び解決される点：①早期に適切な対応をしていくことにより、子育てに課題を持つ親の支援と発達に課題を抱える子どもの支援に取り組むことができる。②幼稚園、小、中、高での教師と連携した対応策を試みることで、子どもの健全育成を図ることができる。③親と子、また親子が周囲の人々との温かい関係性を構築していくことにより、明るい社会につなげていくことが可能になる。 | 1. 講演会（会場＋オンラインのハイブリッド型）<br>（1）期日 12月3日（土）<br>（2）場所 アイリンク（予定）<br><br>2. 啓発活動<br>年間通してホームページ等     | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、感染が拡大した場合にはオンラインでの開催も視野にソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。 |

| 事業<br>番号 | 団体<br>NO. | 団体<br>分野 | 事業<br>分野 | 団体名    | 事業名                 | 事業概要説明                                                                                                                                                                                                                      | 実施時期、方法、場所                                                                                                  | 前年度指摘事項 | 事務局所見及び団体確認事項                                                                                                           |
|----------|-----------|----------|----------|--------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 37       | 85        | 7        | 7        | 行徳芝桜の会 | 芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業 | 市や県の管理が十分行き届かない江戸川第二終末処理場内に、芝桜やその他の花の植栽をし、その管理を行うことにより、街の良好な景観を形成し、市民のやすらぎの場を提供するとともに、街の活性化を図ることを目的とする。<br>この施設は毎月最終月曜日を除き、9時から17時からの解放で駐車場も広く、スポーツ施設、広場、林道、遊具、水辺など恵まれた環境の中で、更に四季を通じて花が楽しめる場として、多くの利用者に喜ばれている。              | ・芝桜グループ：毎週火曜日9時から11時<br>・バラグループ：不定期に個人ベースで通年随時行う<br><br>・福栄スポーツ広場は芝桜花壇<br>・いこいの広場はバラ花壇中心で、スロープや駐車場エリアの草花花壇も | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、感染が拡大した場合にはオンラインでの開催も視野にソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。 |
| 38       | 91        | 13       | 13       | ASB    | 家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業  | 野外活動（キャンプ場で行うイベント）と工作教室を開催することにより子供達に遊ぶ楽しさを提供すると共に親御さんのコミュニケーションの場を提供し、キャンプの楽しさやものを作る楽しさを知ってほしいと思い企画しています。過去の活動を振り返りますと、工作教室に参加された皆さんから工具を使っておもちゃを作る楽しさが伝わったと共感していただき、野外活動でも日頃体験できない事や実生活でも活用できそうなことがあるので参考になるというご意見を頂いています | 8月、野外活動、市民キャンプ場<br>1月、工作教室、市川駅南公民館                                                                          | なし      | 事務局にて形式審査済。<br>例年同様の事業内容及び規模であることを確認。<br>コロナ対策について、ソーシャルディスタンス・消毒・マスク・検温などの基本的な予防対策を実施予定とのことです。                         |